

富士宮ならではの魅力ある学校づくり

「富士山を心に、夢をもって 生きる子ども」を育てる

— 学校力育成のための 12 の提言 —

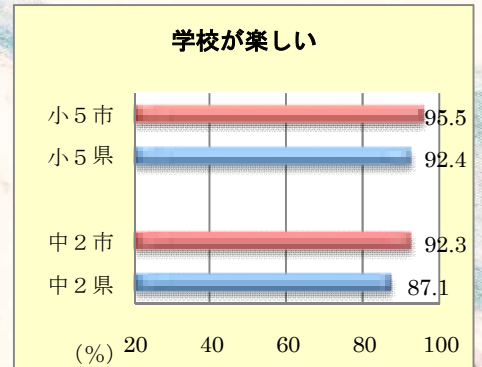
平成22年1月

富士宮市 富士宮の学校力育成会議

1 富士宮の教育の現状と課題

富士宮の子どもたちは…

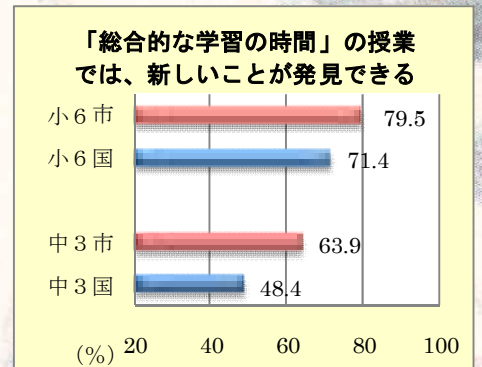
- あいさつがよくできる。
- 富士山学習PART IIに進んで取り組み、地域への関心が高い。
- 学校に喜んで登校する子どもが多い。
- 体力は全国平均より高い。
- 基礎・基本を身に付け、その力を実生活に結びつける必要がある。
- 基本的な生活習慣を身に付ける必要がある。
- 希望や夢を大切に、自信をもって生活することが望まれる。



H20 小・中学校における児童生徒意識調査(静岡県)

小中学校は…

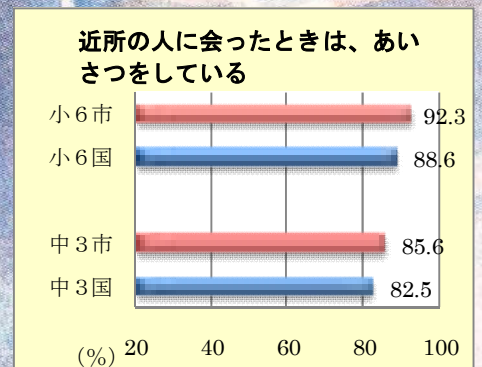
- 学級を基盤とした人間関係づくりに努めている。
- 富士山学習PART IIが、子どもの自ら学ぶ力を伸ばす学習になっている。
- 特別支援教育の推進に努めている。
- 校長のリーダーシップのもと、組織として一層機能する必要がある。
- 幼保・小・中学校間の円滑な接続が必要である。
- 富士山学習PART IIの一層の充実が必要である。



H20 全国学力・学習状況調査質問紙

教師は…

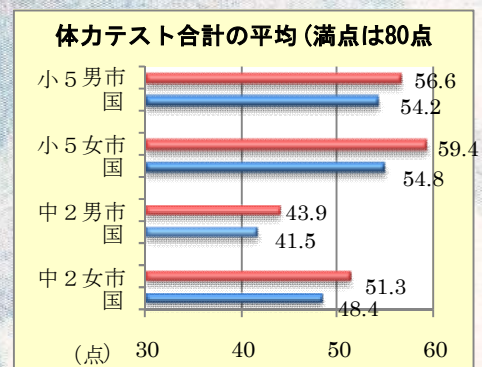
- 授業力向上に向け、研修を積んでいる。
- 一人一人の子どもを大切に、理解しようと努めている。
- 個別の対応にこころをこめてしている。
- 子どもから一層信頼される教師となる必要がある。
- 授業力・生徒指導力の一層の向上が必要である。
- 子どもとじっくり向き合える時間の確保が必要である。



H20 全国学力・学習状況調査質問紙

学校と家庭・地域との連携・協力は…

- 学校に協力的な家庭が多い。
- 子どものために学校に協力している人が多い。
- 読書活動が盛んに行われている。
- 富士山学習PART IIを支える人が多い。
- さらに連携・協力できるよう、学校と家庭・地域をつなぐ体制づくりが必要である。
- 授業や学校行事等へ参観する機会を増やし、情報発信の工夫と配慮が必要である。
- 家庭が全ての子どもにとって、安らげるところであるために、具体的な手立てを示す必要がある。



H20 全国体力・運動能力・運動習慣等調査

富士宮の教育のめざす方向

「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」を育てるために、学校、家庭・地域及び教育委員会のそれぞれが、単独ではなく、互いに働きかけながら連携・協力し、一体となって富士宮ならではの魅力ある学校づくりを推進していく。

目指す子ども像

富士山は、やさしく励ましてくれたり、勇気づけたいしてくれる。そのような富士山を心に、未来に向けて希望や夢をもって、一日一日を大切にして友達と協力し、勉強や運動に取り組み、いっしょけんめい生きる子ども。

「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」を育てる
富士宮ならではの魅力ある学校づくり

学校・教師

学ぶことの意味と喜びを実感させることができる学校づくりをめざす。

連携・協力

家庭・地域

子どもの居場所として心安らく家庭づくり、絆づくりに努める。

教育委員会

各学校が、学校力を高め、特色ある教育活動を推進できるように教育環境を整備する。

富士宮の学校力育成会議の提言から

学校・教師へ

学校の方針を明確に示し、教員の協力体制が充実した学校。使命感を持ち、指導力の向上を常に心がける、人として尊敬される先生。協働して子どもを育てるための、保護者・地域との双方向のつながり。

- 言葉やコミュニケーションを大切にしたい、学びの充実
- 学ぶ過程を大切にしたい富士山学習PARTⅡの充実
- すぐれた芸術等との出会い
- 体力づくりの推進
- 食育やキャリア教育(働くことの意味を学ぶ教育)の一層の推進
- 子どもたちを危機から守る対処方法の明示と家庭・地域との共有化
- 家庭・地域からの信頼を深める広報活動の充実
- 小中連携による富士山学習PARTⅡ、生徒指導等系統的な指導計画の作成

家庭・地域へ

安定した家庭生活の実現と地域の活性化。学校を支える組織づくりと豊かな言語環境の整備。

- 早寝早起き朝ごはんや家事の分担の定着
- 家族で会話を楽しむ「食卓の日」の充実
- PTAに地域住民が加わった学校応援団としてのPTCAの立ち上げ
- 地域・公民館機能の充実と通学合宿の推進
- 退職教職員等による学校支援体制の整備
- 「あいさつの声が響く地域運動」や地域の交流活動の推進

教育委員会へ

「教育の日」を設定するなど、子どもと向き合うための条件整備や教職員の専門性を高める体制づくり、学校評価等を基にした学校への支援。

- 「教育の日」の設定
- 会議や出張の見直しと授業研究の時間の確保
- 様々な特性を持つ子どもに対応するための各種支援員の充実
- 学校図書館司書の活用等による学校図書館機能の充実
- 教職員の心の健康を守る相談体制の整備
- 教職員の力量を高める教職員研修システムの充実



Q1 「学校力」とは、どのような力ですか？

A1 子どもたちをよりよく育てるために、学校が組織として機能する力であり、また、家庭や地域社会の支援によって生まれる学校の総合化された力です。教職員の資質向上や学校、家庭・地域の連携・協力により、その力は高められていきます。

Q2 「富士宮ならではの教育」とは、どのようなことですか？

A2 富士宮の子どもの現状と課題を、いろいろな立場の市民の視点で把握・検討し富士宮の環境的素材や、今まで培ってきたものをさらに生かしながら、地域に根ざした教育を行うことです。

Q3 「確かな学力」とは、具体的にはどのような学力ですか？

A3 基礎的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力です。

Q4 「富士山学習PARTⅡ」とは、どのような学習をするのですか？

A4 総合的な学習の時間のことです。富士宮市では、探究活動を中心に、地域を素材とした学習を深く掘り下げ、子どもたち自らが学ぶ過程を通して、自ら学ぶ力を育てていくことをめざしています。

Q5 「PTCA」とは、どのような意味ですか？

A5 子どもをよりよく育てるために、PTAに地域住民（Community）が加わり、学校、家庭・地域住民が、これまで以上に力を合わせ連携・協力していくための組織です。

富士宮の学校力育成会議委員（50音順、敬称略）

座長	天笠 茂	千葉大学教授、中央教育審議会委員
副座長	池谷眞徳	富士宮第一中学校長
委員	伊藤世津子	貴船小学校長
	大塚清美	図書館協議会役員
	加茂哲三	司法書士、民事調停委員
	小上馬俊夫	二の宮区長
	鈴木まき子	県立富岳館高等学校長
	南里昌彦	富士宮市PTA連合会役員
	増田恭子	富士宮市商工会議所役員
	望月 勝	黒田幼稚園長



問い合わせ先

富士宮市教育委員会学校教育課

〒418-0022 静岡県富士宮市弓沢町 150 番地

TEL 0544-22-1185

FAX0544-22-1209

<http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp>